



長 崎 県
中 小 企 業 家 同 友 会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
 U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを
＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

中同協 第44回定時総会 参加報告 (1)

第2分科会

中小企業憲章・条例推進の運動を強め
 今後の展望を切りひらく

- 大分同友会 代表理事 木下 光一 氏
- 大阪同友会 副代表理事 憲章条例推進部長 杉原 五郎 氏
- 横浜国立大学 名誉教授 三井 逸友 氏
- 長崎支部 出島地区会 濱田 利夫



を強め今後の展望を切りひらく」というテーマでした。

大分同友会の木下代表理事から「中小企業憲章・地域振興条例は自社経営の充実のため」というテーマで報告が

ありました。木下さんの「憲章制定運動の原点」は、共同求人に参加して自社ブースに学生が来ない、内定辞退など、背景に言われなき中小企業の蔑視があると感じられたこと。中央官庁は中小企業より大企業を優遇している。経済産業省には4000人いるが、そのうち中小企業庁は200人、省の予算は3400億円+特別会計であり、省予算の14%が中小企業庁の予算である。自社の立脚点を確認してみても明らかになった課題には自社だけで解決できないことがある。それは地域振興条例につながる。憲章制定は経営者の役割であり、自社の経営に真剣に取り組む時、憲章の必要性が見えてくる。地域振興条例は自社の経営課題から出発し、仕事づくり・地域づくりを通して地域の再生に取り組み、市民・行政と深く関わり、

7月12～13日に参加してきました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、全国から1163名の参加登録がありました。

13:00に全体会開始 岐阜同友会 熊田代表理事より歓迎のご挨拶がありました。

今年、岐阜同友会は40周年を迎えられました(S47年7月15日設立:全国で9番目に発足)。その後各分科会が開催され、私は第2分科会に参加しました。「中小企業憲章・条例推進の運動

目次

中同協 第44回定時総会参加報告会(1).....	1	新入会員・交代の皆さん.....	13
7月例会報告.....	6	コラム.....	14
会員活躍.....	12	9月例会案内.....	15
中同協 広報委員会に参加して.....	13	理事会報告.....	16
		会員消息・会員数.....	16

他の経営者団体と協同で推進することにより、自社の新たな経営が見えてくる。

同じテーブルで、愛知同友会で中小企業憲章担当で副代表理事をなさっている和田さんから「同友会らしい政策活動の手引き」の冊子と「条例ロードマップ」のまんがをいただきました。長崎同友会の政策委員会で共有したいと思います。

感じたことですが、中小企業憲章は行政と密接な関わりが必要であり、他県は憲章担当の責任者は副代表理事が多いようです。県の同友会の代表として活動するには、その方がよいのでしょうか。

また、全国大会に参加して毎回のよう感じるのですが長崎同友会は三位一体（経営指針・共

同求人・社員教育）への取り組みが他県と比較すると未整備であり、三位一体を同友会運動のベースとして定着させる活動が望まれます。



第5分科会

魅力ある会社は「共育ち」から 社員同士が教えあい育てあう社風づくり

愛知同友会 共同求人委員長 北川 誠治 氏

大村支部 徳田 信義

私は今回1番人気の第5分科会に参加しました。参加人員152名17グループの分科会でした。報告者は愛知同友会の共同求人委員長の(株)キタガワ工芸、北川誠治社長でした。

同友会には共同求人をする為に入会したそうです。同友会に入会以前は中途採用で社員を採用していたが、同友会に入会後は新卒採用に切り替えて社員教育を実行した結果、業績も向上し社員も123名に増え共に育つ社風ができ、自主的な社員が増えて魅力ある会社に成りつつ有ると言う報告でした。

新卒者の教育は2年か3年先輩に教育担当を決め、自分で教えることで先輩たちも仕事を学んで行き先輩、後輩の絆が出来て、良い結果を齎していると言う事でした。

自社も現在では中途採用しか行って居ませんでした。何故なら新卒者は1から教育しないと使い者に成らない。2、3年教育してやっと使い者に成るかなと思って居た所に辞めてしまうと良く聞いて居ましたので、まず1から教育する余裕は自

社には無いから中途採用しかして居ませんでした。

新卒者を採用すれば色々な事に染まってないから自社の社風に染まりやすいし、愛社精神とか社員同士の絆が出来て社内が良い雰囲気になると北川社長の話を聞いて、私も考え直して見ようと思いました。

質問で新卒者の定着率はと聞いて見ましたが2年3年で辞めて行く者が三人に一人は居るとの事でした。しかし、辞めて行く者も有るが残った者は会社の為に頑張ってくれて良い働きをしてくれるから、これからも続けて行くと言っておられました。

グループ討論の中でも毎年新卒者を採用していると言う会社もあり定着率も良いと言っておられました。しかし、新卒者教育は時間も金も掛かるから中途採用しかやらないと言われる会社もあり賛否両論でした。

全体会議では中小企業振興条例制定の推進と企業変革支援プログラムへの取り組み推進と経営指針作りは不可欠であり努力して欲しいとの事でした。全国総会に参加して、私も更にパワーが付いたと思います。皆さん全国大会には年に1回は行きましょう。

長崎県中小企業家同友会創立40周年記念
第19回 経営フォーラム IN SASEBO
2012. 10.6
開催!
メインテーマ 「より深く!より広く!」 同友会をより深く学び、より広く知らせよう!

第19回経営フォーラムのホームページが出来ました。

<http://nagasaki.doyu.jp/forum>

同友会のホームページから利用できます。会員の皆さんのホームページに経営フォーラムの広報として、バナーをリンクして頂きますよう、ご協力お願い申し上げます。ご協力頂ける場合は、<http://nagasaki.doyu.jp/forum/banner/> にバナー利用の説明頁がありますので、ご参照下さい。

第7分科会

国際的視点で同友会運動に取り組み、 新しい仕事づくりの連携を広げよう

兵庫同友会 支部幹事長 **中村 高明 氏**
アドック神戸 副会長 **溝淵 隆史 氏**
阪南大学経営情報学部 准教授 **関 智宏 氏**
佐世保支部 尾崎 彰宣

今回はじめて、全国総会に参加致しました。私にとって九州・沖縄以外の会員の方とはじめて接するこの大会で、いきなり分科会のグループ長という大役を仰せつかりました。グループ長としてうまくやっていけるかという不安と、県の例会委員長として何か各支部に持ち帰るものはないか、また会社の経営においての新しい学びはないか、などの期待が入り混じる中、本大会に臨みました。

今回、私が参加した第7分科会のテーマは、

「国際的視点で同友会運動に取り組み、新しい仕事づくりの連携を広げよう。」というものでした。企業同士が連携し、国際化を視野にいれ、仕事を増やそうということです。兵庫同友会の製造部会「アドック神戸」さんの取組み事例をもとに、議論がなされました。

結論として、海外進出に際して最も重要なことは、情報とネットワークで、志を同じにする同友

会の会員同士での情報交換による連携は、非常に有益なもので、これを生かさない手はないということです。また、今回の事例で注目すべきことは、当日コーディネーターをされ、海外に強いネットワークを持たれている阪南大学の関准教授が、「アドック神戸」さんの各企業の手助けをされており、現地での情報提供はもとより、コンサルタントの紹介までされているそうです。行政の補助金もあり、まさに産学官の連携をされているということです。

東アジアに近い九州は、海外進出に打って出るには、絶好のロケーションにあります。残念なことに、本分科会に九州からの参加者が少なかったことには、正直驚きました。

これから、先細りしていく国内重要に対しての危機感が、各地の同友会の中で、意識の差があるのも事実のようです。しかしながら、今後は、一つの経済圏をなしている九州（特に北部九州）の連携は必須です。そのためにも、同友会も県境を越えた連携・取組みが必要だと考えます。福岡・佐賀・長崎の同友会で海外進出を狙った県境を越えた部会の設置なども、検討に値するのではないかと感じました。

第8分科会

家業から企業へ 日本最強のパート集団づくりを目指して 青年部での出会いで学んだ同友会理念

福井同友会 副代表理事 **内田 光紀 氏**

長崎支部 浦上地区会 中村 勝志
プログラマーなぞ聞こえはよいものの所詮"虚業"にしかすぎません。

私個人の"実業"への憧れと、地域の小さなお店、いわゆる"家業"をいかにして"企業"に育てていくのか？そしてそれに、同友会がどんな役割を果たしているのか？全国大会への参加は、これを意図したこともあり、岡山全研は「高橋ふとん店」、福島全研は「豊の橋高」でしたから、ここ数年、私が同友会活動において意識して取り組んでいる個人テーマかも知れません。そして今回は、先代から福井市で毎朝の牛乳を戸配しているいわゆる"牛乳屋さん"です。

内田社長が小さい頃「家の仕事(牛乳屋)はかっこ悪い…。嫌で嫌で仕方がなかった。」思い出しかないようで…。しかしこれは、ふとん屋さんにも豊屋さんにも共通していて、小さな町の小さな

お店の共通したコンプレックスかも知れません。

傍からすれば「些末な"悩み"」も、ご当人たちにとっては一大事であり、「家業から企業」は一大事業。いかにしてこれを果たしていくのか？参加者としては、興味をそそられるところです。

まずは、「社員の意識改革」をと…。幼い頃とは言え、内田さんが「牛乳屋はかっこ悪い」と思っていたのだから、社員さんの仕事に対する熱意や、会社への帰属意識を変えるには？しかも、戸配業務の特殊性ゆえ、パート職種であるが故の難しさは覚悟の上だったそうです。

まずは書籍を読みあさり、ノウハウとハウツーのマニュアル化した『自己都合の社員教育』を取行するも、誰もいうことを聞いてくれずに、あえなく挫折…。程なく同友会に入会した青年部の例会で、「聞き手(社員)は何を言ってるか？より、誰が言っているのか？」つまり、言う人の人間性を見て聞くし、聞き手のアクションに繋がることを学び、これまでの行動は、経営者としての覚悟が足りないことを気づかされました。

"会社が、経営者が果たす責任(「会社の方向性・価値観」とは何か?)を「経営理念」に著し、経営者としての意識改革・資質の向上の必要性を

感じるまでに、かなりの時間がかかったようです。

こうした経緯が故に、あざとく設定されたグループ討論テーマ「社員教育と社員共育との違いは？」に関して。

「やらされ感と達成感」の差は歴然であるということ。

「押し付けられるよりも、自ら考え行動する。」さらにこれに評価が加わることによって、人は成長を続けられる。

「小さな町の小さなお店のパート社員の一人とは言え、人として成長することで、矜持を与えら

れ、仕事に自信と信頼を勝ち取れる。」私がテーブルを共にして下さった会員各位によって導き出された結論です。もとより、同友会が提唱する「人間尊重の経営」に言うまでもありません。

先に閣議決定された「中小企業憲章」で「中小企業が、地域の経済を牽引する力であり、社会の主役」だと著しているように、私たちが常日頃から実践している「社員共育」が、「地域で生きること・暮らしを守ることを支えている」ことに、会員の一人として誇りに感じました。

第10分科会

笛吹けど踊らず、あなたの本気度は！ 仲間づくりは人づくり組織づくり

富山同友会 常任理事 仲間づくり協議会 座長 **竹内 正明 氏**
長崎支部 浦上地区会 末次 眞

私が第10分科会を申し込んだのは、同じ建設業関連と仲間づくりに引かれてこの分科会を選んだのですが、内容は同友会仲間づくりに始まって、人づくり、組織づくりの内容に終始し、大変感動し、又、同友会活動と会社経営は両輪の輪だと云うことを今一度思い知らされ、感動の2日間でした。

富山同友会は1980年41名で発足し、1994年にはピークで739名迄増加し、2005年には、428名に迄減少し、2006年には新支部設立で少しは増加したものの、その後伸び悩み、2009年仲間づくり協議会の座長となった竹内氏は新しい会員のリストアップの推進や誘える例会づくりなどを役員へ投げかけますが、なかなか思うようにはできませんでした。

そんな時参加した組織問題全国交流会で大きな刺激を受け、仲間づくりの理念を作成して意義を伝えることで理事の意識に変化が現れ、理事・役員が動き出し念願の500名の壁を乗り越えたそうです。

リーダーが本気で仲間づくり、人づくり、組織づくり、支部づくり、地域づくりをすることによっ

て、同友会は結果として会員が増えることとなるし、又、会員自らが成長すると、竹内氏が力説されました。

下記に特に気付いた事を記します。

1. 役員は特に会員増強の意義を同友会の手引等資料より読合せを行う。
2. 同友会は量が先か！質が先かを理解すること。
3. 役員会で毎回1～2か月間の入会予定者を個人として報告する。
4. 新入会員に対するフォローを研究する。
5. 例会での同じテーブルでの出会いに感謝する。
6. 各支部の例会の年内コンテスト、富山で評判が良いそうです。

今回も私自身の勉強になり、又、新しい気持ちで創業の原点に戻って仕事に励みたいと思って帰ってきました。

富山県中小企業家同友会 会勢の増減

☆1980年	41名
☆1981年	186名
☆1990年	479名
☆1994年	738名
☆2000年	557名
☆2005年	429名
☆2010年	438名
☆2012年	554名

第15分科会

差別化経営をどのように進めるか 『常に考える』社風をその眼で <企業見学>岐阜同友会 **未来工業(株)**

佐世保支部 橋口 久

同友会活動において、私は受け身の会員。つまり、責任を持つことを回避する「永遠の新人」と

して、敢えて消極的な活動の中で経営指針作りや障がい者雇用の導入など旨みだけを掠め取る卑怯な立場を取っていました。

今回の定時総会に参加した理由も開催地岐阜での熱気を長崎に持ち帰る使命感に駆られたからではなく、申し込んだ動機は極めて利己的。今回の分科会の中に組み込まれていた未来工業(株)の

企業見学に参加したかった、それだけの理由で申込書をFAXしました。

しかし、岐阜の地に降り立ちメイン会場の長良川国際会議場に向かった私は、カルチャーショックを受けることとなります。千人以上にも及ぶ経営者の熱気、そして交流できた経営者1人ひとりの自社と同友会活動に対する熱意。会議場の中の私は、まるで回遊魚が元気に泳いでいる傍でただ浮いているだけの海藻のようでした。私は、自ら「永遠の新人」であろうとしたこと、そして佐世保支部の会員に甘えていたことに恥ずかしくなりました。自社発展のためには、不離一体の同友会活動を通して中小企業、地域経済、日本経済の発展に貢献しなければならない。同友会とは自分の利益を先に考えた「利用」ではなく、他を活かし

結果として自社のためにもなる「活用」が正しい取り組み方であることに気づかされました。

また、経営者の数だけ志と悩みがあるとすれば、千人以上の仲間と出会えたことは、自社の明日に挑戦する勇気に繋がりました。

「永遠の新人」から「永遠の同友会会員」のステージへ上がるきっかけとなった今回の定時総会。これからは、共に学び共に成長できる場づくりに少しでも貢献できるよう努力し、自社の発展に役立てたいと思います。

最後に、アウトロー経営である未来工業(株)の企業見学は非常に価値あるものでした。私のブログに写真付レポートを書いています。ご興味ある方は、「橋口久 定時総会」で検索してみてください。

第16分科会

いざ決戦！リーダーは何を考え、どう行動するか
関ヶ原古戦場現地踏破実習

岐阜同友会 小島 正憲 氏

長崎支部 浦上地区会 伊藤 浩義

18年ぶりの全国大会参加に心浮き浮き会場の岐阜へ、1100名の参加とのことでしたが全体会の雰囲気も味わず第16分科会の集合場所へ移動。第16分科会「いざ決戦 リーダーは何を考え、どうこうどうするか」40名の参加(バス2台)にて一路「もののふ」の合戦上「関が原」へ。報告者：小島 正徳氏の説明を車中にて受ける。

徳川家康 石田三成の戦略 戦術等を実際の地に立っての説明中、その当時の様子を目を閉じて想像してみる。半径約400mのなか西軍 東軍約156000兵がひしめき会い戦ったとのこと。このような戦の例は世界的に見ても稀とのことであった。

各武将の陣(島津 福島 島等)を回り他がために戦う漢(おとこ)の生き様を考えさせられる。戦場にはいろいろな考えや思考が蔓延るもので東軍の勝利の決め手となった小早川秀秋はまさにいい例で裏切り者のレッテルを生涯貼られる事となるのだが……。

現実にはこのような生き方もありかなと思う。歴史を変えた一人になれるのだから。又島津義弘のように敗北が決まると甥を身代わりに一目参に戦場を横切り逃げた。これも考えようには天晴れといえるのではないのでしょうか？

このように現代社会を生き抜いていくすべなど

たくさんのヒントを与えられ考えさせられました。このように第16分科会ではいい勉強 教訓になりました。

多少のバスでの拘束 雨の中強行なスケジュールでしたが、参加メンバーの話を聞いてると疲れなどはふっとぶそのような印象の強い分科会でした。

2日目 審議を終えパネルディスカッションも全国レベルで内容が濃くよりよい話が聞けました。今回場所的にはちょっと不便(長崎から)ではありましたが 大変有意義な2日間を体験させて頂きありがとうございました。

これを機にまた参加し多くの活気をいただきたく思います。



長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	7月17日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「旅を終え会社と自分はどう変わったか！」
報 告 者	プライムグループ代表 町田 貴代人 会員



初の座長制となる7月例会は、5月に続き町田貴代人地区会長にご報告頂きました。

自分がいなくても会社が回る仕組みを3年がかりで作り、一昨年43歳時バイクで日本一周野宿の一人旅をし、昨年44歳で世界一周を執行します。

世界一周もバイクで一人旅を考えますが様々な事情で断念、ピースボートでの一人旅を選びました。船では色んな人と出会い、料理やイベントを楽しみ、360度の水平線に沈む夕日と朝日に感動し、陸の上では単独で危険な所にあえて行き怖い思いもしたそうです。90日の旅を終え新たな自分に出会えたといっています。

「自分と会社の生命力を確かめられた。自分の引出しに貯まったものを必要な時期に合わせ社員に伝えたい」との言葉は、貴重な体験で得た自信に溢れていました。

町田会員は飲食店などを展開する3つの会社を統括する立場で、グループ理念は「すべてはありがとうのために」。組織作りはサッカーの小嶺監督に習い、社員との触れ合いを大切にしました。自分の能力や



人財、会社の体力財務面で身の丈に合った形で人生を変えるチャレンジを続けています。

自分がいなくても回る様になり、求心力が無くなるのではと弱気になった時に手がけたのが、①人から尊敬されトップリーターとなる人の共通点、②息子との約束事で町田銀次郎が真剣に毎日実践する六つの行動、③遺言書、④町田家家訓。これらを文章にすることで改めて家族、社員、関わりを持って頂いている方々への感謝の思いと関わり方やこれからの自分の取るべき行動に気付き、頭の中が整理されたといっています。

今年45歳の誕生日に奥様から送られた手紙の内容にドキッとする所もありながらも、毎日現場に出て、毎月給料日社員に手紙を書いてくれる奥様には感謝の気持ちでいっぱいだそうです。

グループディスカッションでは町田会員の行動力を称えながら、テーマである自分の人生設計について語り合いました。座長の西村会員は、「周りのスタッフや家族を大切にしてきたことで今日がある。小嶺モデルならぬ町田モデルを確立した町田会員の更なる活躍に期待したい」とまとめました。

海外進出も視野に入れる町田会員の様にはいきませんが、チャレンジする事を恐れてはいけないと教えてくれた例会でした。

(文責 吉田國廣)

ホームページのバナー広告を募集しています！

●お問い合わせ●
事務局まで
(月500円です)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	7月25日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「個人密着型で価格競争に勝つ!!」 ～自社の顧客にあった本当のサービスを求めて～
報 告 者	(株)住吉電機 取締役 本村 崇 会員



冒頭、品川会員から会員の皆さんに注意喚起として「光デジタル」回線に関する勧誘が増えてきていると話がありました。

本村さんは、少々緊張気味で声が浮いているようでしたが時間が経つにつれ落ち着いていきました。内容としては高校時代のアルバイト、卒業してから大企業へ就職しそこから得た事の話から、地元に戻りなぜ競争が激化している家電業界に飛び込んだのか、試行錯誤する中で紆余曲折がありながら住吉電機を立ち上げ、大型家電量販店と競い合おうとしているのか、本村氏の熱い思いが語られ会員皆聞き入ってしまいました。

そこで、今回のテーマを個人密着にとしたのか理解できました。会員からは今後大型家電量販店との違いをどうアピールしていくのかなどの質問があり、本人も今後の課題として考えているとのことでした。

グループディスカッションでは「あなたが受けた感動したサービスはなんですか?」というテーマでディスカッションが始まり、各グループともどうこのテーマを捉えるかで苦労していたようです。



サービスといえどもいろんなサービスがあり個人的なもの、組織的なものと多種多彩に成ってきているような気がします。

グループ発表にしてもいろんな感動したサービスがありました。その中でも介護施設福祉サービスの中で、介護を受ける人の中でその人のいままでの生きてきた半生を鑑みてその人の豊かさを考えてプランを立てた時その人ばかりでなくご家族からも感謝・感動されたとの事でした。

今回のグループディスカッションは喧々諤々と会場が座長の声が聞き取れないほど盛り上がってました。最後に松田座長の「本日のまとめ」も簡潔にまとめられており、さすがだと思いました。

また、例会に佐世保より今年度の経営フォーラム実行委員会より、山領 進委員長以下4名の方がPRを兼ねてお見えになり参加申し込みを取り付けてお帰りになりました。今年度は40周年記念事業と経営フォーラムが合体して行われます。岩崎40周年記念実行委員長より10月6日の40周年記念講演の会場が九十九島観光ホテルから県立大学の講堂に変更になったと報告がありました。記念講演には大学生も参加するそうです。会員の皆さんぜひ10月6日は佐世保に行きましょう!

(文責 峰 俊典)



新商品

長崎さるくマツト

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4 cm × 9 cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

諫早支部 例会報告

日 時	7月20日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「私のマーケティング戦略」
報 告 者	(株)ソニック 取締役長崎支店長 山田 康成 会員 (諫早支部長)

7月例会は、山田支部長の日頃言われておられるテイク・テイク・テイク精神(見返りを期待せずに与え続ける)そのものでした。

理工系の大学に入りマーケティングを学び営業志願。理工系から営業は珍しい存在だった時代に営業を目指された。ドラッカーの本を見て感動 そして行き着いて入社したのが今ではポピュラーな女性のデリケート商品メーカーに20年勤務。その時代、商品性格から流通・陳列が容易ではない時代にご苦労された営業秘話を聞かせていただきました。

営業研修の27歳の時、16mm映画の「てんびんの詩」を見て感動。映画は小学校卒業したての主人公が鍋蓋行商脚し、営業に通じるお客様と主人公との温かい気持ちのやり取りに心打たれ涙を流され、「営業とは良いな」と思われたそうです。

その後ソニー生命に転職するわけですが、入社しようと思った動機はソニー生命の広告「今日から生命保険が変わる!ライフプランナーが変わる!」というフレーズでした。

アメリカでは家庭に3人のコンサルタントがいます。1人は弁護士。2人目は健康を管理する医者。3人目は金融に関する相談をするファイナンシャルプランナー。この業務を保険のエージェントが行っている。保険の外交員は男性の仕事だ!と自信を持ったそうです。

また、生命保険販売のプロセスを話され、お客様が悩んでいることは「実は・・・」と心を開いてもらえ

るまで一生懸命に話しをお聞きできればお客様ご自身が保険の必要性に気づくことになり、後は望んでいらっしゃる商品提示・説明・決断を促すこととなります。また、姿勢として「口の重さと腰の軽さ」守秘義務と迅速なお客様に対する営業処理も大切と教えていただきました。

テーブル上に資料と切手を貼って出せる珍しい木の板のハガキが置いてありました。保険同業者の方がこのハガキを宣伝にどう使いこなし、お客様に保険をいかに表現出来るのか。電話ではどうなのか?など、同業者同士で情報交換されているそうです。

ご自身、MDRT(世界78国、36000名会員の生命保険・金融のトップクラスメンバーで構成された相互研鑽と社会貢献、バランスのとれた人格を志向するホールパーソン)の日本代表に7回選ばれアメリカにご出席の時、亡くなったスーパーマンのクリストファーリーブが事故後生前の頃、動かぬ身体なのにベッドで会場に登場され、保険に感謝し大切だと話し、でも保険はいらぬから立ち上がりたいとご意志を述べ、保険業の利益の1%を基金にしてくれとおっしゃった感動のお話でジーンとしました。

そして同友会会員に生命保険の個人、会社に対しての基礎知識をわかりやすく安心出来る説明をされ、最後に、お客様の一生を守っていける仕事だと自信溢れるお言葉でした。

そう言えばお話の途中、小さい成功例の積み重ねが自信になることも言われていました。同友会はビジネスの交流できる良い会という思いを語られ、そして営業力・経営力とは何なのかを教えていただき、生きている限り経営者・従業員の命に関する、生命保険の大切さを実感させられた7月例会でした。

(文責 杉本誠二郎)

トリナソーラー太陽光発電の販売協力店を大募集!

トリナソーラーは 1kwあたり 30万円代取付費込

超ローコスト!しかもハイパワー!

産業用50kw以下のコンパクトな小規模発電所プランをパッケージ販売!

スマホ(アプリ)で発電量を管理できる

もちろん住宅用もOK!

トリナ・ソーラー正規特約店

(資)内島材木店

TEL 0957-62-2022

長崎県島原市新馬場町 <http://uchijima.jp>

建築古材屋

▼古材ショップのホームページは <http://www.kentikukozajya.co.jp>

検索

↑内島のECO提案↓

現代社会に、わずかしが残っていない良質の古材を保護し、再利用していきます。古材は、地球の宝だと考えます。

使えぬ古材も売ります!

使えぬ古材も買います!

使えぬ古材も活かします!

大村支部 例会報告

日 時	7月23日(月) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「経営指針づくりにチャレンジしよう」
報 告 者	(株)ミヤタ 専務取締役 宮田 正一 会員 (大村支部長)



今回の例会は「経営指針づくりにチャレンジしよう」をテーマに生野経営指針づくり委員長より趣旨説明があり、宮田大村支部長から実践報告がありました。

生野委員長は趣旨説明の中で、経営指針とは①経営理念②経営方針③経営計画の3つで成り立っており、①経営理念とは、企業の目的とは何かを考え、経営にあたっての根本的な考え方を明示するもの。②経営方針とは、経営理念に基づき、経営の基本的方向を確立すること。③経営計画とは、設定された目標と戦略に基づき、それを達成する為の手段、方策、手順を具体的に策定するものであると説明されました。

宮田支部長は、「健康的な漬物文化の提供によりお客様の満足と社員の幸せを実現することで、社会に貢献する企業を目指す」を経営理念に掲げ、従業員一人



ひとりに浸透するよう社内のいたる所に掲示しているそうです。

また採用時の面接では、この経営理念について重点的に話しをし、理解してもらい、賛同してもらえるかどうか採用のポイントになると報告されました。

グルーディスカッションでは実際に経営理念簡条書きシートを使って、「何のために経営しているのか」「わが社の固有の役割は何か」など6項目について自分の考えを簡条書きにし、発表し合いました。

自分にとって、経営理念とはあつてないようなもので、今回このような機会をいただき改めて文字に起こしてみたことで、自分の経営者としての方向性や、今後の進むべき道などをぶれずにしっかり持つておくことの大切さを実感しました。

自分の経営理念をしっかりと明文化し、従業員とも確認しあい、自社の進むべき道をしっかりと歩んでいきたいと思ひます。

経営者として従業員に責任を持つ為にも、今回の経験をしっかりとした経営理念のある事業所へと成長させていきたいと思ひます。

(文責 谷 信一郎)

島原支部 例会報告

日 時	7月27日(金) 午後7時
会 場	島原市有明総合文化会館グリーンウェーブ
テ ー マ	「個人事業から会社組織へ」 ～ビジョナリーカンパニーを目指して～
報 告 者	昭和プランニング 代表 大町 行弘 会員

大町会員は、島原市で創業して8年、現在不動産・保険業を中心に事業展開を行なわれています。

近年住宅に関しての資格を取り、実家の建設業の変革に着手されています。

今までに起こった仕事での経験談や何故会社組



織を強化していかななくてはならないのかを御話して頂きました。

今回の話でもっとも印象に残る話は、カナダへ一年間留学して、価値観が変わったことと、会社を立ち上げる時の人とのつながりや仕事の依頼を請けるため何でも屋になって仕事と関係ないことまで相談や手伝いをした。

そこで人とのつながりが出来て仕事に結びつけることが出来たようで、カナダでのエピソードや行くまでの経緯を面白く話していただきました。

現在は親と別で立ち上げた会社を運営されていますが、近い将来は親の会社の建設業と合わせて会社を大きくしていくことを考えているようで、その会社の欠点を補うために計画を立てられているそうです。

質問ではカナダでのエピソードでお金がそこをつきそうなときはどうやって凌いだのかとか、依頼は以前は全部受けていたと言う事でしたが、今はどうされているのか。

依頼された仕事を全部請けて自分の本業での最初の大きな仕事はどれくらいの仕事だったのか。それと昭和プランニングと言う会社名の由来について等の質問がでました。



今回の報告者は同じ支部のメンバーということで和やかな雰囲気でも、報告者も面白く話していただきました。オブザーバーで来られていたい方々も話が色々なエピソードがありとても面白くて大変良かったと言う感想でした。

報告の後、フォーラムについてのキャラバン隊の事業説明も丁寧な説明で絶対成功させたいと言う意気込みが伝わる会になりました。佐世保支部から島原支部まで来られとても感謝申し上げます。

(文責 本田順也)

佐世保支部 例会報告

日 時	7月20日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ ー マ	「経営をよくするための、第一歩」
報 告 者	STSOL 代表 永末 勝宏 会員



今回の例会報告は、STSOL代表の永末勝宏会員に行っていただきました。

永末会員は、現在同友会で取り扱っている「企業変革支援プログラムステップ2」を利用して、どうすれば経営を良くすることができるのか佐世保支部会員の数名で日々議論を重ねています。その成果を自らの会社で行った事で話をしていただきました。

「ステップ2」では、厳しさを増す経営環境において、企業が継続発展し続けるためには、経営



者自身の自己変革と経営姿勢の確立、「企業変革」できる組織・「企業変革」し続けられる組織となることが必要とあります。これまでの事業領域や経営の仕方、社員との関係など、自社と経営者自身の立ち位置を再確認

し、新たに企業を創造する気持ちで、抜本的に事業の在り方を見直すことで、経営環境の変化に振り回される経営から、経営環境の変化を的確にとらえ、ぶれない座標軸を持った経営を追求することができるはずで

永末会員の会社は、現在4名で事業を行っており、小企業において、簡単に経営指針づくりに取り組めるシステムのモデルとなりました。発表では、自社分析に試作品であるエクセルを利用して分析し、「課題洗い出しシート」で自分の考えている課題と現実とやらなければならない課題との



違いに気づいています。経営課題のカテゴリを明確に意識することが、重要なことで、経営課題解決の第一歩です。そこから新たな経営計画の策定に向かってほしいものです。

グループディスカッションでは、「自社分析をどうしていますか？」というテーマで議論していただきました。内容が難しかったり、決算書の数



値だけ見ていたり、業種によっては自社ではどうしようもない事であったりと様々な意見がありました。だからこそ、最初にも書きましたが、抜本的に事業の在り方を見直すことで、ぶれない座標軸を持った経営を追求することができるようになってほしいと考えます。

(文責 千北豊明)

北松浦支部 例会報告

日 時	7月25日(水) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
内 容	「仲間づくり」北松浦地区交流会 北松浦の未来を語る。



今回の例会は、松浦YEG・平戸YEG・北松浦JC・平戸法人会青年部に声かけをして、仲間づくりを企画しました。



しかし、参加案内の遅れや同友会企画の為勧誘されるのではないだろうかと慎重になり、オブザーバーの参加が少なかったようです。

また、会員の出席も少なく企画に問題があったと思います。

例会の様子は、皆さん円満に会話など食事を取りながら行われ、地域のことや、自分たちの会のこと等 多くの意見が飛び交っていました。

どの会にも言えるのが会員の減少と会員拡大が重要な課題だということです。

佐世保支部による経営フォーラムの案内は、オブザーバーのみなさん興味があり多くの人が出席していただけるようです。

どうしても若い人中心に仲間づくりを企画しているの、今後はベテランの方にも案内をするようにしたいと思っています。

(文責 津崎幸三)

青年経営者会例会報告

日 時	7月24日(火) 午後7時
会 場	メルカ築町5 F会議室
テ ー マ	「わたしの履歴書」
報 告 者	(有) 吉川商事 吉川 憂也 会員 (長崎支部 浦上地区会)



梅雨明け宣言が告げられ、眩しすぎる真夏のなか、青年経営者会の7月例会が開催されました。久しぶりの報告会という事で、出席率の向上とオブザーバーの勧誘を働きかけ、目標20名出席を大きく上回る25名での例会となりました。

報告者である有限会社 吉川商事 吉川憂也会員は、青年経営者会の中でも最年少で、前途有望な青年であります。2代続いている瓦工事業を継承する決心が付くまでの様々な葛藤やエピソードを、包み隠すことなくお話いただきました。社長=親父、親父の背中を見ながら『尊敬の念・ライバル心・目標』を抱き、時にはぶつかり、酒を交わしながら将来像を語り合っているというエピソードを聞き、うらやましい・恵まれた環境で仕事が出来ているといった感想が聞かれました。

また、グループディスカッションでは『二代目・事業継承に対する希望や不安』というテーマで討論されました。それぞれが違った環境の中、実際に事業継承を行っている会員、これから直面するであろう会員、まったく考えていないといった会員と様々な意見が交わされました。実際に継承している方の意見の中では、今まで築き上げてきた事業を継続していくことの難しさや、新しいことへチャレンジしたいけど、なかなか踏み込めないもどかしさを感じられました。これから直面するだろうといった方の意見では、父親のお客さんを



いかにして自分のファンにしていけるかといった切実な意見も聞かれていました。まったく考えていない会員の意見の中には、二代目は楽なのかなと思っていただけ、創業者である方が自分のやりたい様にすすんでいけるから、ある意味楽なのかな?でも、いずれ誰かに事業継承していかないといけないから、いい勉強になりましたといった意見がありました。歳が近いからこそ、抱えている悩みや不安も似通っていて、青年経営者会ならではの例会であったと感じました。

また、フォーラム実行委員長の山領さんを初め、3名の方が佐世保支部よりキャラバン隊として参加して頂き、40周年記念事業を盛り上げていきましょうとご案内いただきました。青年経営者会会員も参加して、40周年記念事業の成功を成し遂げられるよう願っております。

(文責 長崎支部浦上地区会 山下修一)

会員活躍

太陽光発電所の安全祈願祭が30日、現地であった。31日に着工し、10月末にも完成の見込み。九州電力への売電は12月上旬ごろから始める。
メガソーラーの施設名は「SOL de 平戸」下中野で、市が所有する「下中野工業団地」(約2万平方メートル)のうち約1万3千平方メートルを20年契約で賃借。ソーラーパネル約700枚(最大出力計約1メガワット)を設置する。土地の賃借料は年間約170万円とみられる。
安全祈願祭には荒木社長や黒田成彦市長ら約20人が出席し、工事の安全を祈った。



メガソーラー建設の安全祈願祭
あいさつする荒木社長(左)
平戸市下中野

会員

長崎新聞(7/31)

・・・中同協 広報委員会に参加して・・・

日時：7月26日(木)
会場：大阪市中央公会堂

情報広報委員長 瀬頭信介

情報広報委員長の瀬頭で御座います。先日大阪で開催され、出席してきました「中同協広報委員会」の様子をご報告します。

今回の委員会の主なテーマは「同友会における対外広報の戦略強化について」という内容で、報告が行われました。

東京同友会からは同友会ホームページについて、ターゲットが拡散し情報発信の方向性が不明確だったものを、e-doyuを使ったアンケート調査を行うことにより、若手経営者にターゲットを絞ったデザイン・スマートホン対応機能を持たせたものにリニューアルさせたという報告がありました。

愛知同友会からは対外広報を戦略的に行うという内容で、経済記者クラブメンバーやNHK報道部と定期的に開催している懇談会のお話や、マ

スコミ・行政と連携した同友会のファン作り等の報告がありました。

長崎同友会においても、インターネットを利用した広報と、実際にお会いして口伝えで行う広報を組み合わせる進めなければならないと改めて感じました。また情報発信するターゲットを明確にし、発信する内容が同友会の理念に対して相応しいかを十分に吟味しなければならないと感じました。

岡山同友会からは利用者増加が著しいフェイスブック活用について報告がありました。情報を迅速に共有するツールとしては優れていますが、管理の問題、プライバシーの問題を考慮すると、非常に難しいツールです。同友会はe-doyuという独自の情報共有ツールを持っていますから、e-doyuを活用し運営していくことが理想だと感じます。

今回の委員会参加は、同友会歴の浅い私にとって非常に勉強になりました。他県の同友会の仲間に出会うことが出来、広報を行うものは同友会について十分な理解が無いと勤まらないと教えてもらいました。

新入会員・交代の皆さんです

(敬称略)

< 7月入会 >

支 部 名	長崎 (浦上地区会)		
氏 名	やまさき あきら 山崎 晃		
企 業 名	(株) 山晃ユニティー		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒851-2121 西彼杵郡長与町 岡郷1474-22		
T E L	095-887-1011	F A X	095-840-5080
業 種	建築資材販売		
企 業 P R	弊社はアルミ材の加工を得意とし、主にYKKAP製フロントサッシの加工、製作、販売を行っております。その他、リフォーム、内外装材の販売、施工も行っており、お客様の要望にあった提案を出来るよう努めて参ります。		
スポンサー	平野 圭司		



支 部 名	大 村		
氏 名	つだ こうすけ 津田 高輔		
企 業 名	海龍 (かいりゅう)		
役 職 名	代 表		
企 業 住 所	〒856-0027 大村市植松3丁目645-16		
T E L	080-6421-4803		
業 種	ホルモン卸・小売		
企 業 P R	創業四十年、変わる事なく作り続けた秘伝のタレをベースにホルモンの小売と卸売をしてきました。お客様の要望もあり、8月に焼肉店をOPENします。		
スポンサー	山本 進		



支 部 名	長崎 (出島地区会)		
氏 名	みやざき りょうこ 宮崎 涼子		
企 業 名	(株) 地中海		
役 職 名	稲佐店責任者		
企 業 住 所	〒852-8003 長崎市旭町3-11		
T E L	095-862-1342	F A X	095-862-5299
業 種	建設、不動産取引		
企 業 P R	建築、不動産賃貸売買を長年に渡って経営しています。常にお客様に夢を与えられるよう、社員一同研究努力しています。		
スポンサー	池田 いづみ		



支 部 名	大 村		
氏 名	はまむら しゅんすけ 濱村 俊介		
企 業 名	税理士法人 森田事務所		
役 職 名			
企 業 住 所	〒850-0055 長崎市中町5-30 エルドラビル5F		
T E L	070-5439-7602	F A X	095-895-7092
業 種	会計、税務コンサルティング		
企 業 P R	幅広い分野でコンサルティングできることを使命とし、顧客満足度を追求する総合サービス業をめざす。		
スポンサー	金井 政春		



支 部 名	大 村		
氏 名	まきやま ひろかず 牧山 大和		
企 業 名	(株)ドラゴン		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒856-0815 大村市森園町1537番地2		
T E L	0957-52-0055	F A X	
業 種	駐車場、レンタカー		
企 業 P R	長崎空港を利用されるお客様に、空港専用駐車場で空港間送迎無料です。尚、2012年3月より格安レンタカースタートしました。(他社の約半額でご利用できます。)		
スポンサー	金井 政春		

支 部 名	佐世保		
氏 名	ひくち よしのぶ 樋口 義修		
企 業 名	(有)樋口弥生堂		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-3166 佐世保市木原町1675		
T E L	0956-30-8648	F A X	
業 種	陶磁器販売		
企 業 P R	業務用食器をメインに取り扱っております。また、各種業務用用品(ガラス器、漆器、カトラリー、木製品)等を取り扱っております。		
スポンサー	松尾 慶一		

< 交 代 >

支 部 名	佐世保		
氏 名	たけもと しんや 竹本 伸也		
企 業 名	(株)クリーンマット		
役 職 名	佐世保営業所 所長		
企 業 住 所	〒857-1162 佐世保市御本町16番2号		
T E L	0956-32-8488	F A X	
業 種	ダストコントロール業		
企 業 P R	昭和50年創業のリネンサプライ業(レンタルマット、モップ、浄水器、空気清浄機)とビル管理業(清掃、請負)をしている会社です。		
前 会 員	猿渡 彰		

折込サービス開始!

会員企業の皆様で制作されたチラシを
広報誌と一緒に会員に配布するサー
ビスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。
発送は毎月15日～20日に行います。
支部指定も出来ます。

**A4チラシ1枚5円です。A3チラシ
は2枚分となります。ご利用お待ちし
ております。**



夏に楽しむ日本酒

諫早支部 瀬頭信介

夏に楽しむお酒といえば「ビール」が主流ですね。私も日本酒メインの蔵元でありながら、夏はビアホールで生ビールや黒ビール等を楽しんでいます。

日本酒の飲用シーンとして夏はピンとこないですが、最近は夏向けのいろいろなお酒があるんです。

通常日本酒のアルコール分はおよそ15パーセントですが、約1～2パーセントアルコール分を押さえ、飲み易く仕上げたフルーティーな香りが特徴の「夏・吟醸」や「夏・純米吟醸」は夏に人気の日本酒です。

また、出来上がったお酒を全く加熱せず、フレッシュな生の状態で出荷する「生酒」は、若々しさとキリッとした切れ味が特徴的な、魚料理と特に相性の良い日本酒です。

他には、日本酒を製造するときに発生する炭酸ガス

を利用した「微発泡タイプ」の日本酒は、微炭酸が爽やかさを演出してくれる新しいタイプの日本酒です。

それぞれのタイプの日本酒は、5～10℃の「雪冷え」に冷やしてお楽しみ下さい。

次に日本酒をアレンジした夏に合う涼しげな飲み方をご紹介します。

「日本酒ハイボール」は、グラスにたっぷりの氷を入れ、日本酒をグラスの半分ほど注ぎ、次に同量のソーダを加えて出来上がり。薄い輪切りのレモンを添えていただきますとより爽やかさが増します。「サムライロック」は、ロックグラスにたっぷりの氷を入れ、ライムを勢い良く搾って果汁を加えて出来上がり。さっぱりと頂けます。

食、ライフスタイルの変化と共に、冷酒、燗酒だけでなく、日本酒の飲み方にも工夫が必要となっています。でも一番美味しいお酒は、「同友会」の仲間、気の合う仲間と共に酌み交わすお酒ですよね。

9月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 9月24日(月) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ - マ 「40年間の戦力として」
~障がい者雇用を考える~

報 告 者 (有) エス・ケイ・フーズ 取締役
中村 こづえ 会員(出島地区会)

長崎市内を中心にマクドナルドのFC店舗13軒を展開。アルバイト(クルー)約500名、社員30名。その中に障がい者を11名雇用され、障がいがあっても働けるように自社の環境整備などもすすめてこられました。現在は自社内の取り組みだけでなく、長崎県や特別支援学校、公共職業安定所とも連携しながら他社でも障がい者雇用が広がるよう積極的に活動を進められています。人を大切にする姿勢が同社の経営にどう影響しているのか等、報告をしていただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 9月26日(水) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
テ - マ 「弁護士大増員時代の経営戦略」
~後継者との事務所共同経営化~

報 告 者 大同門法律事務所 所長
金子 寛道 会員

漫画家志望をやめて、弁護士となり法律事務所を開業。司法試験合格者の大増員、長崎弁護士会会員の増員、事件・収入の減少など弁護士大増員時代に突入しており、事務所改革の戦略として、後継者との共同経営化を実行中。同友会では代表理事等を歴任され、会の発展に多大に貢献。同友会に入っていて良かったこと、代表理事などの役員だから体験できた経営の醍醐味などを交えて、法律事務所経営の今後の展望を語っていただきます。

●大村支部

日 時 9月20日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 経営指針づくり例会

報 告 者 九一庵食品協業組合 代表理事理事長
徳田 信義 会員

2012年度、経営指針づくり例会の第2弾。経営指針づくりの道案内、足がかりとなった前回に続いて、今回は大村支部で経営指針のモデルとなっている徳田氏の経営指針を参考に、ご自身のリアルな経営体験を交えた、より実践的な報告をしていただきます。

●諫早支部

日 時 9月21日(金) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 未定

報 告 者 NPO法人 五島の地域医療を守る会
和田 嘉毅 会員

●島原支部

日 時 9月20日(木) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 「おもてなし」~マーケティングとは~
報 告 者 島原市 物産流通対策本部 本部長
武長 道雄 氏

伊勢丹の本部長を歴任、岩田屋再建の陣頭指揮をとられ、島原市物産流通対策本部に就任されています。伊勢丹では2兆円の売り上げの統括をされた経験から、本物の「おもてなし」を通じて、何故マーケティングが必要なのか、又どの様に生かすべきなのかをお話ししていただきます。

●佐世保支部

日 時 9月21日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ - マ (仮)「よい経営環境を作るためには？」
~中小企業振興条例で地域が変わる!~

報 告 者 (株)ミヤタ 専務取締役
宮田 正一 会員(大村支部)
(株)富建 代表取締役副社長
富永 栄一郎 会員(大村支部)

同友会には「よい経営環境を作ろう」というスローガンがあります。これは一人の力では出来ませんし、特定の一つの団体でも出来ることではありません。そのような中、大村市では、同友会大村支部の今回報告者のお二人を中心に、行政を巻き込みながら丁寧に条例制定の仕組みを作り上げてこられました。今回は10月6日のフォーラムを前に、大村支部の丁寧な取り組みを報告していただくとともに、条例の制定で我々の経営環境がどう変わるかをお話ししていただきます。

●北松浦支部

日 時 9月26日(水) 午後7時
会 場 松浦シティホテル
テ - マ 「企業変革支援プログラムの活用
方法を学ぶ」

報 告 者 経営指針づくり委員会委員長
吉永 満也 会員

経営指針づくりや社員教育など、さまざまな活動や会員の経営実践などの教訓をまとめた「企業変革支援プログラム」を活用するための例会を開催します。

●青年経営者会

日 時 9月25日(火) 午後7時
会 場 同友会事務局
テ - マ 「相続と贈与に関するQ&A」

報 告 者 吉田國廣税理士事務所 所長
吉田 國廣 会員

9月の例会は、スペリヤリスト例会として私たち青年経営者会OBであります。吉田國廣税理士事務所の吉田國廣さんに「相続と贈与に関するQ&A」という題目でお話ししていただきます。相続にまつわる贈与税や株式評価についての他に税務署対策についてふれていただく予定です。今回は私たち若手経営者、特にこれから事業継承を行う方々に必見の内容になっていますので皆様ぜひご参加ください。

+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +

理事会報告

2012年8月理事会 議事録 抜粋 8月2日(木) シーハットおおむら

仲間づくりについて

- 1) 入会4名、復会1名、退会2名を承認。

報告・連絡事項

- 1) 7月 県本部・各支部・各地区会・各委員会等の活動状況について

- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)

ー尾崎例会委員長

＜良い例会とは＞

- ・報告者が「起承転結」にまとめているか(現状、原因、対策と効果、将来の展望とまとめ)
- ・同友会でどの様に学び、それをどう活かしているのか? が盛り込まれているか。
- ・何を訴えたいのか? 明確であるか。
- ・ディスカッションテーマが報告内容にマッチしているか?
- ・企業変革支援プログラムの各項目を活用しているか?

＜問題点＞

- ・「グループ発表」が時間通りに進行していない。
- ・報告内容に関係ない質問があった。
- ・開始時の人数の少なさ。

- 3) 経営フォーラムに関してー山領実行委員長

※分科会別登録状況 第1-37、第2-55、第3-11、第4-13、未定-9 計125名

※フォーラムノート 広告28口

※7月27~29日にかけて、座長各位に報告者との打ち合わせに行っていました。

- 4) 五島支部設立についてー松田支部設置準備委員長

「支部設置準備委員募集結果」

順不同 長崎ー末次さん、内山さん、大村ー宮田さん、諫早ー平湯さん、杉本さん、和田さん

＜今後に向けて＞

- ・「同友会を語れる人」を委員として追加する予定です。
- ・1年以内に支部を設置する方向。会員数は、少なくとも15~20名を考えています。
- ・ひとりでも多くの方のご紹介に協力願います。
- ・各支部役員会等でも「委員」の呼びかけをお願いします。
- ・県下一体となつての五島支部作りにご協力願います。

- 5) 県・県議会 関係報告

①県議会「経済・雇用対策特別委員会」からの要請
7月30日(月) 10時
「中小企業の現況と取組状況について」

②県産業労働部からの要請

8月2日(木) 15時 「地域振興条例について」

③県議会「条例制定検討協議会」からの要請

8月7日(火) 9時30分

※「中小企業振興条例」の制定効果等について

- (1) 他県においては、中小企業振興条例を制定した上で、各種施策を実施しているが、本県における制定効果としてはどのようなものが挙げられるか。

- (2) 条例の実効性を高める上で、どのような内容を盛り込む必要があるか。

- 6) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

②中同協 第44回定時総会参加報告

③中同協 広報委員会(7月26日・大阪)

参加報告ー瀬頭委員長

協議・承認事項

- 1) 40周年記念事業に関して

ー岩崎40周年記念事業実行委員長

- ・記念誌についてー『企業広告募集取り下げ』の提案を承認
- ・名簿の必要性についてー各支部8月役員会での協議を依頼。『支部の総意』を8月30日(木)の三役会までに報告願います。

- 2) 理事選考規定の見直しに関してー西村専務理事ー承認

＜提案内容＞

今期は現行の『理事・ブロック役員選考規定』(議案書未掲載)よりブロックの部分を取り除き対応し、今後、来期からの選考に間に合う様に選考委員の選任等、選考規定を見直す。

- 3) 会費滞納者への対応に関してー吉田財務委員長

①氏名公表(3ヶ月以上滞納者)と対応確認

②「会費滞納者への対応」についての一部変更提案ー承認

＜2ヶ月分未納の場合＞

事務局より電話で月内の納入日を確約。

不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに『連絡し、納入を促して頂く。』

⇒事務局より電話で月内の納入日を確約。

不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに『連絡する。』

＜3ヶ月分未納の場合＞

事務局より電話で月内の納入日を確約。

不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに『連絡し、納入を促して頂く。』

と、同時に翌月理事会にて氏名を公表。

⇒事務局より電話で月内の納入日を確約。

不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに『連絡する。』

と、同時に翌月理事会にて氏名を公表。

- 4) 映画「ひまわり」製作支援要請に関する再提案について

ー松尾代表理事ー承認

提案内容ー会員各位へ鑑賞券(一口1,000円)の購入の協力要請をさせていただきます。(まとめて、長崎映画センターへ納入)

会員消息

●会社名・役職名変更

大崎 悠史 会員 (長崎支部・出島地区会)

大崎 千弘 会員 (長崎支部・出島地区会)

新社名:(有)黒岩商事 → (株)黒岩商事

大崎悠史会員は代表取締役役に就任されました。



「退局のあいさつ」

6月末日をもって退職させて頂きました。

事務局員として至らない部分が多々ありましたが、皆さんと会活動を共にさせて頂いたことで、成長することができたと感じております。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

芦塚 誠司

会 員 数 (8月2日現在)

	目 標	期 首	現 在
長 崎	229	182	178
(浦上)	109	91	89
(出島)	120	91	89
大 村	55	46	49
諫 早	60	45	48
島 原	40	30	31
佐世保	100	69	75
北松浦	40	29	29
合 計	524	401	410